

**別表1 各養育形態別困難度の仮説**

途中で養育者が交代する場合の困難に関する項目群											
各養育形態別困難度の仮説 3=ストレス高、2=ストレス中、1=ストレス低、0=該当なし											
大分類	中分類	動機づけ項目	養護職員	里親	母親	父親	一般養育(実子)	具体的に困難と感じるであろう項目	平均	標準偏差	
日常生活項目	人数が増える問題	子どもの人数(家族の増減率)による困難の増減	1	1	2	3	1	単独に、同居の人間が増えることは大変である(家族が増えるのは一般的に楽しんでもある)	1.6	0.9	
		子どもと同居する前と後の比較	0	0	2	3	0	子どもと同居することで以前より狭くなった	1	1.4	
		寝室・個室に関する問題	0	0	3	2	0	子どもと一緒に寝るのが苦手	1	1.4	
		住空間のストレス・改造費等を含むコストの増減	0	0	2	3	1	住宅改造費・引越し費用がない	1.2	1.3	
		子ども自身の満足度	2	2	2	2	0	子どもが今の環境に満足していないのではないか	1.6	0.9	
	住居に関する問題	問題解決に要する困難度	0	0	2	2	0	自分の居場所がなくなった	0.8	1.1	
		問題解決に向けての行動の結果	0	0	2	2	1	住空間を確保できていないのに養育が始まり、その状態から抜け出すことが出来ない	1	1.0	
		食の嗜好に関する違い(未知の好き嫌い)	1	2	3	3	0	自分が作ったものを嫌う(前養育者の食事が好き)	1.8	1.3	
	食生活に関する問題	食生活態度(おもにしつけ)に関するストレス度合	2	2	3	3	1	食べ方が汚い・食べるのが遅いなど	2.2	0.8	
		問題解決に要する困難度合	1	1	3	3	2	同居の他の人間が食べ方気にしない(意識のズレ)	2	1.0	
		問題解決に向けての行動の結果	1	1	2	2	1	子どもと食事を共にすることが辛い	1.4	1.5	
		衣の習慣の違い	1	1	3	2	1	着替えしない・同じものばかり着る	1.6	0.9	
その他生活習慣に関する項目	洋服などの好み	1	2	3	2	1	ファッションの趣味が合わない、買ったものを着ない	1.8	0.8		
	入浴等の習慣の違い	2	2	2	2	2	風呂に入らない・入ってもきれいにしない	2	0.0		
	塾・習い事等の教育支援	1	2	3	3	2	塾や習い事に行かなくてもやる気がない	2.2	0.8		
	家事などの手伝い	1	2	3	2	1	お手伝いなどをすることを拒否する	1.8	0.8		
	問題解決に向けての行動の結果	1	2	3	2	1	自分のいうことをきかない	1.8	0.8		
	子育て経験・スキル自己評価	2	2	2	2	2	自分の子育て経験が少ないため適切な養育が出来ないと思う	2	0.0		
スキル項目	子育て経験に関する事項	過去の経験と現実の子育ての違い	2	2	2	2	思ったと違って現実の子育てには通用しなかった	1.6	0.9		
		最初と現在の関心におけるストレスの差	2	2	3	2	最初は大丈夫だと思っていたが、だんだん判らなくなってきた	1.8	1.1		
		支援の必要性(問題解決の可能性)	0	0	3	3	1	家族が特別な勉強をする機会を嫌がる(普通のお家での思い込みから)	1.4	1.5	
子どもの項目	子どもに対する感情	子ども個人に対する感情として	3	3	3	3	3	子どもを可愛いと思えない	3	0.0	
		共感性・相性など	3	3	3	3	3	子どもと相性が合わない	3	0.0	
		子どもからの感情	3	3	3	3	3	子どもに好かれていない	3	0.0	
		子どもの過去の養育歴からくる問題	2	2	2	2	0	自分とない、異質の文化(慣習)を感じる	1.6	0.9	
		生理的問題	3	3	3	3	1	子どもの体臭などに生理的嫌悪がある	2.6	0.9	
		問題解決に向けての行動の結果	3	3	3	3	2	このままでは虐待してしまうと感じる	2.8	0.4	
	子どもの発達	発達についての気づき・困難度合い	1	2	2	2	3	子どもが発達障害ではないかと感じる	2	0.7	
		具体的項目	2	2	2	2	3	時間・数字の理解が遅い、読み書きが同年代の子より遅れている、勉強をしない、あるいはしすぎる、落ち着きがない、運動遊びが得意ではないなど	2.2	0.4	
		時期(中途で関わる年齢的困難)	2	2	2	2	1	子どもに発達しようがない気がするが、以前の状態で判らな	1.4	0.9	
		困難度合い	1	2	2	2	1	自分自身が発達しようがないに合うことが出来ない	1.6	0.5	
		家族や周囲の養育関係者との意識の差	1	1	3	3	3	発達しようがないに家族の理解がない	2.2	1.1	
		問題解決に向けての行動の結果	1	1	3	3	2	発達に問題のある子の養育をするには(自分には)難しい	2	1.0	
子どもの問題行動の分類	精神的不安から生じる項目	2	2	2	2	2	爪がみ、チック、指しゃぶり、かんしゃく、夜泣き、夜尿・遺糞、落ち着きがない、気が弱いなど	2	0.0		
	反応性愛着障害等に関する項目	2	2	3	2	1	赤ちゃん返りではないかと思う行動、人との関わりに対して反応がうずい気がある、自分以外の他人にも甘えるなど	2	0.7		
	反抗挑戦性障害・行為障害など	1	3	3	3	2	反抗的だと思えるような態度を感じる、わがままに思える、意地悪をしようする気がする、嘘をついていると思える場面が多い、モノ・お金に対して執着、盗み、万引き、ケンカ、いじめなど	2.4	0.9		
	家族や周囲の養育関係者との意識の差	1	1	3	3	2	他の養育者が子どもに無関心、叱らない、膝をしない	2	1.0		
	問題解決に向けての行動の結果	1	3	3	3	2	子どもに信頼されていないのではないかと感じる	2.4	0.9		
	自分以外の養育者との関係	1	1	1	1	1	自分以外の養育者とうまくいっていない	1	0.0		
子どもの対人・社会関係	子どもからみた養育者の離隔・再婚に関する概念	1	2	3	2	0	子どもが離婚・再婚の現実を受け入れていない	1.6	1.1		
	同居の子どもの関係	2	2	2	2	2	子ども同士が仲が悪い	2	0.0		
	同居の養育者と実子でない子との関係	0	3	3	3	0	実子と実子でない子が仲が悪い	1.8	1.6		
	その他の子との関係	1	1	1	1	1	友人・同級生などと仲が悪い	1	0.0		
	保育・教育現場から	1	1	1	1	1	保育士・教師からの指摘、ルールが判っていないなど	1	0.0		
	性別による困難の有無	2	3	3	3	1	男の子は気にならなすが、女の子は苦手、など	2.4	0.9		
子どもの性について	性的差行動	3	3	3	3	3	性的な差行動	3	0.0		
	同姓における関りの困難度	2	2	2	2	2	同姓としての生理的嫌悪感	2	0.0		
	思春期に関する諸問題の難度合い	2	2	3	3	1	子どもの異性交遊に問題を感じる	2.2	0.8		
	扶養義務終了後の展望	1	2	1	2	3	成人後、子どもは自立できるのか心配	1.8	0.8		
	成人後の養育問題	0	2	2	2	2	成人後、自立出来なかったら自分が面倒を見るのか	1.6	0.9		
	問題解決に向けての行動の結果	1	3	3	3	2	親権がないので成人後の責任は持てない	2	1.4		
家族・血の繋がりに関する項目	配偶者(もう一人の親役割)の存在	パートナーの無理難題によるストレス度合	1	1	3	2	3	パートナーが子育てに理解を示さない	2	1.0	
		パートナーの存在による問題	1	1	3	1	0	パートナーによる親役割の強要	1.2	1.1	
		問題解決に向けての行動の可能性	0	1	3	1	3	パートナーと共に養育することが難しい(離婚を考えている)	1.6	1.3	
		交流の有無	1	1	3	1	0	実親との交流に苦痛を感じる	1.2	1.1	
	別居実親との関わり	存在のストレスの高さ	1	1	3	2	0	子育てに関っていない実親の存在	1.4	1.1	
		問題解決に向けての行動	1	1	3	2	0	子育てを放棄した実親に対する悪感情	1.4	1.1	
		親族の血の意識(パートナー含む)	0	0	3	1	2	血縁者による問題の意識を感じる(自分だけ疎外されている)	1.2	1.3	
		血縁者との関りから来る困難	0	0	3	2	0	子どもが(祖母など)前養育者の言うことしかまかない	1.2	1.3	
	血の繋がりに関すること	真実告知の有無	1	1	2	2	0	(出生の事実など)子どもに伝えていない事がある	1.2	0.8	
		社会的な関りの中で生じる家族構成毎の困難	0	1	3	3	3	子どもへの関りにおいて家族が問題性を気にする	1.2	1.3	
		問題解決の行動の結果	0	0	3	3	3	家の中に自分の居場所がない	1.8	1.6	
		助けられている度合い	0	1	3	1	3	家族・親族が養育の協力をしてくれない	1.6	1.3	
家族・親族による介入など	家族間の意識のズレ	0	0	3	3	3	(子どもの様など)家族が養育に不適切な関与をする	1.8	1.6		
	ストレスになる度合い	1	0	3	3	3	前養育者(担当者)の子育てへの関わりが苦痛	2	1.4		
	問題解決への行動の結果	0	0	3	2	3	(同居の親族と関らないために)引越しを検討している	1.6	1.5		
	問題解決への行動の結果	0	0	3	2	3					
中途養育者の社会的関り	社会全般な関り	偏見の目	3	3	3	3	3	虐待を疑われているように感じる	3	0.0	
		中途養育者としての開示の有無	1	2	2	1	0	近隣に実子ではないことを伝えていない	1.2	0.8	
		偏見の目	1	2	2	2	0	地域(近隣者)がよそよそしい	1.4	0.9	
		頼りた度合いによる困難	0	1	2	2	0	地域(近隣者)が親役割を強要する	1	1.0	
	地域(近隣者)との関り	地域(近隣者)が支援出来る可能性	1	1	2	2	0	地域(近隣者)にもっと気を遣ってほしい	1.2	0.8	
		中途養育者としての開示の有無	1	1	2	1	0	学校に実子でないことを伝えていない	1	0.7	
		偏見の目	1	2	2	2	0	学校側がよそよそしい	1.4	0.9	
		頼りた度合いによる困難	0	1	3	1	0	学校が親役割を強要する	1	1.2	
	学校など教育機関との関り	教育機関が支援出来る可能性	1	1	2	2	0	学校側にもっと中途養育に対する理解がほしい	1.2	0.8	
		中途養育者としての開示の有無	0	2	2	1	0	ママ友などに実子でないことを伝えていない	1	1.0	
		偏見の目	0	2	2	1	0	保護者(ママ友)がよそよそしい	1	1.0	
		頼りた度合いによる困難	0	2	2	1	0	保護者(ママ友)が親役割を強要する	1	1.0	
保護者間(ママ友など)との関り	保護者同士が支援出来る可能性	1	2	2	1	0	保護者(ママ友)にも中途養育に対する理解がほしい	1.2	0.8		
	中途養育者としての支援体制の有無	2	2	2	2	0	行政・医療・子育て支援機関に支援体制が充実していない	1.6	0.9		
	偏見の目	2	2	2	2	0	行政・医療・子育て支援機関において中途養育に対する偏見を感じる	1.6	0.9		
	利用に際しての困難	0	0	2	2	0	施しを受けることに抵抗を感じる	0.8	1.1		
行政・医療・子育て支援機関等との関係	支援機関に関する知識	1	1	3	3	2	支援機関がどこにあるのかわからない(調べるのが困難)	2	1.0		
	支援機関に対する意見、要望など	2	2	2	2	0	行政・医療・子育て支援機関にはもっと中途養育に対する理解がほしい	1.6	0.9		
	中途養育者としての支援体制の有無	1	2	2	3	0	NPO・当事者会・インターネットなどの支援が充実していない	1.6	1.1		
	偏見の目	1	1	2	2	0	NPO・当事者会・インターネットなどで中途養育に対する偏見を感じる	1.2	0.8		
その他(NPO・当事者会・インターネットなど)	利用に際しての困難	2	2	1	1	0	NPO・当事者会・インターネットなどの利用に抵抗を感じる	1.2	0.8		
	機関に対する意見、要望など	1	1	2	2	0	もっと中途養育に対する理解がほしい	1.2	0.8		
	経済的に困難を感じる原因	2	2	2	2	2	養育費が見えない	2	0.0		
	母子家庭→再婚	0	0	3	0	0	再婚により生活が悪くなった	0.6	1.3		
経済的サポート	サポートの有無	0	0	3	2	2	養育の経済的サポートが得られない	1.4	1.3		
	必要性の度合い	0	0	2	2	1	生活が困難でいく	1	1.0		
	問題解決に向けた行動の結果	1	1	2	2	1	現行の法制度に不平等を感じる	1.4	0.5		
	心理的困難を及ぼす原因	2	2	2	2	2	医療・相談窓口で理解のない言葉に傷ついた	2	0.0		
心理的サポート	サポートの有無	1	2	2	2	2	中途養育に理解のある心のサポートがない	1.4	0.9		
	問題解決に向けた支援の可能性・要望	1	1	2	2	1	支援者側に中途養育の困難についてもっと勉強してもらいたい	1.4	0.5		
困難度得点合計			107	143	234	202	105		57.7641	7578	1.65